

子どもの成長に思いを寄せる日

10月16日(土)に行われた一中祭のあいさつで「いつもは子ども達に『お家の方に感謝して下さい』と話していますが、今日は保護者のみなさんが『お子さんに感謝する日』になるはずです」とお話ししました。

私自身振り返れば、保育園や小学校・中学・高校の運動会(体育祭)や文化祭(学芸会)は自分の子どもの成長を確かめる良い場であり、それを見ることで親として「これからも頑張らなければ」と思う機会でもありました。今考えれば、その日は**子どもに感謝する日**だったんだなと思っています。

生徒達の文化祭に向け一生懸命取り組む姿には感動を覚えました。普段の学校生活もそうですが、この文化祭期間中や一中祭当日の子ども達の頑張りは、私たち教職員にたくさんの元気をくれました。まさに、子ども達に感謝です。

話は変わりますが、3年前(令和元年)、国立青少年教育振興機構が、日本、韓国、中国、米国の高校生を対象に行なった意識調査(2018)の中で、「私は価値のある人間である」という質問に「YES」と答えた割合は、日本人は44.9%(韓国83.7%、中国80.2%、米国83.7%)という新聞記事が話題となりました。44.9%というのは低すぎる数字です。裏を返せば、「自分に価値がない」と感じている日本の高校生が半数以上いるということです。とてもショックでした。

「一中祭で頑張った自分のお子さんを、お子さんの友達をたくさん褒めてください。人は誰でも褒められれば自信がつきます。そして自信がつけば、自分で行動しようとうします」と最後にお話ししました。

子どもの成長を間近で見ることができていることに感謝し、頑張った結果や過程をたくさん褒めてあげることが自立への近道なのかもしれません。

「文化祭 子の成長に 思い寄せ」

藤川俊彦(10月20日更新)